

## 1. 高齢者へのゴミ出し支援策を問う

日本の高齢者人口は、現在 26.7%に達し 2035 年には 3 人に 1 人が高齢者になると推測される。ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加すること、また病気や身体的衰えでごみ出しに課題を抱えることが増えてきている。

環境省は、ゴミを集積場まで運ぶことが困難な高齢者のために、自治体などが高齢者の自宅に出向きゴミを回収する「ゴミ出し支援」制度の拡充に乗り出す方針を決めた。同省は支援状況などを調査したうえで、自治体向けのガイドラインを来年 3 月までに作成し制度づくりを促すとされた。本町でも平成 28 年に高齢化率が 25% を超えている。自治体による高齢者へのゴミ出し支援制度が必要になってくるのではないか。

ごみ出し支援は、高齢者の負担を減らしてごみを収集できることに加え、高齢者の見守りなど、効果が期待できる。よって次の事項を問う。

- ① 現状の高齢者のゴミ出し状況、支援の現状は。
- ② 見守りを含めたゴミ出し支援の連携をどのように考え、構築していくのか。